

# 羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

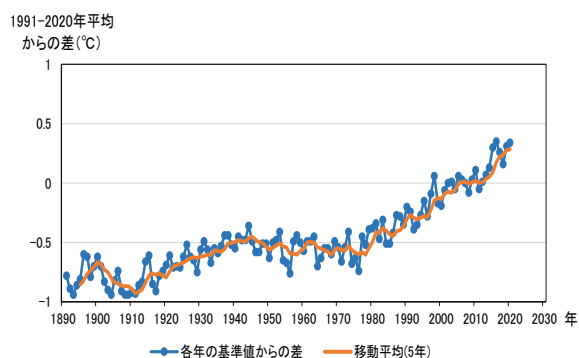
## — 概要版 —

### ■ 計画策定の背景

#### ・ 地球温暖化の現状

地球の平均気温は、1880年～2012年に0.85℃上昇しています。

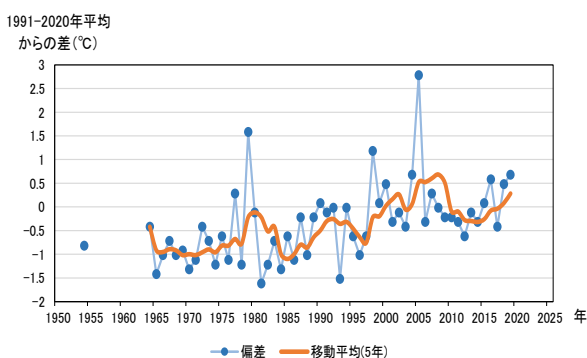
本市においても、年平均気温の上昇傾向が見られ、1970（昭和45）年ごろに比べ、2000（平成12）年以降は1℃程度上昇しています。



注：基準値は1991～2020年の30年平均値

資料：気象庁HP (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) 世界の年平均気温偏差(°C)のデータより作成

世界の年平均気温偏差



資料：羽島市統計書（羽島市、1980年～2020年）をもとに作成

本市の年平均気温偏差

#### ・ 温暖化の影響

2100年までに気温の上昇を産業革命以前に比べ1.5℃以内に抑えることができなかった場合、近隣の名古屋市の最高気温は40℃を超えることが危惧されています。

資料：COOL CHOICE ウェブサイト (<https://on.dankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>) 「2100年未来の天気予報」（環境省）より加工して作成



## ■計画の基本的事項

### ・目的

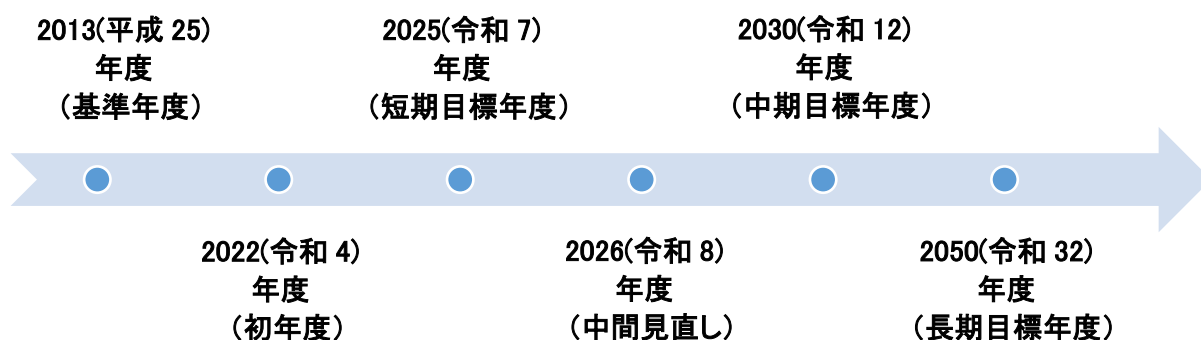
羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（以下、「本計画」といいます。）は、本市の現状や地域特性を踏まえ、本市全域から排出される二酸化炭素排出量の削減に向け、地域全体での地球温暖化対策に取り組むため、市民、事業者及び市が一体となり、二酸化炭素排出量の抑制を総合的に推進していくことを目的としています。

### ・計画の位置付け

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（平成 10 年法律第 117 号）の第 19 条第 2 項に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて、二酸化炭素排出の抑制等を行うための施策を定めるものです。

### ・計画期間

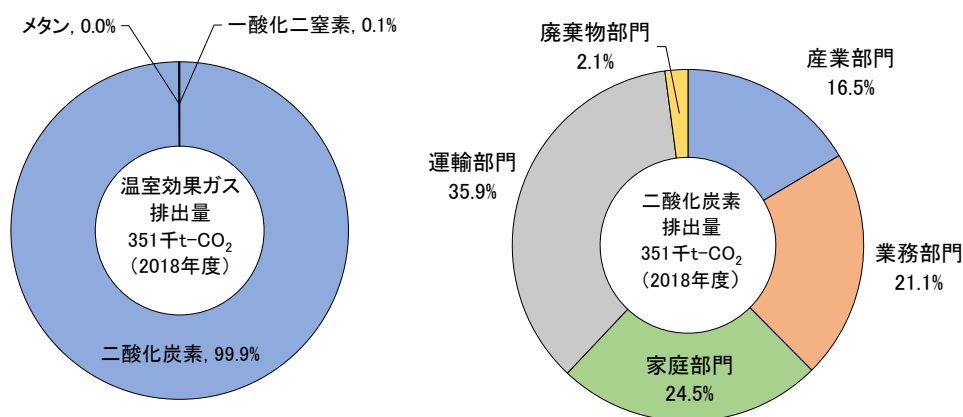
本計画の計画期間は、2022 年度～2030 年度までとします。また、羽島市環境基本計画の見直しに併せて、2026（令和 8）年度に中間見直しを行います。



## ■本市の温室効果ガス排出量

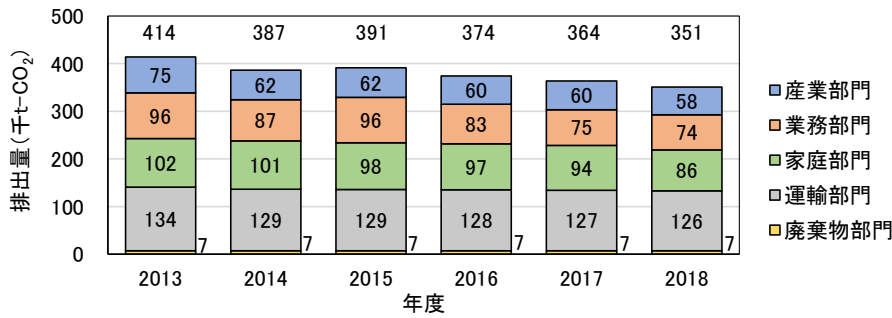
### ・温室効果ガス排出量の状況

本市の温室効果ガス排出量は 351 千 t -CO<sub>2</sub> でその 99%は二酸化炭素です。また、二酸化炭素排出量の部門別排出量を見ると、35.9%が運輸部門、24.5%が家庭部門となっています。



ガス別排出量の割合(2018(平成 30)年度)

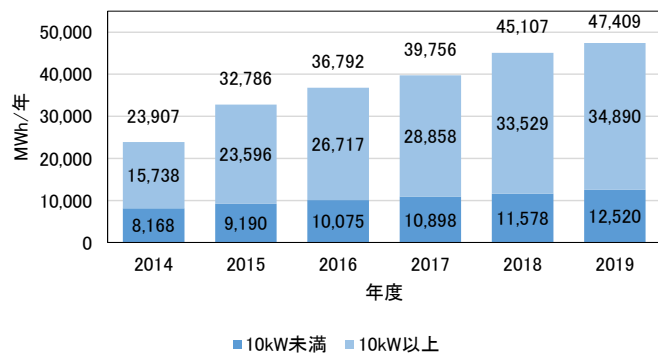
・二酸化炭素排出量の状況



本市の二酸化炭素の排出量は、2018年度は基準年度に比べ約15%減少しています。

・再生可能エネルギーの導入状況

本市における太陽光発電の2019（令和元）年度の年間発電量推計値は47,409MWhで、二酸化炭素換算すると約20千t-CO<sub>2</sub>分に相当します。



資料：環境省 HP、自治体排出量カルテ (<https://www.env.go.jp/>) より

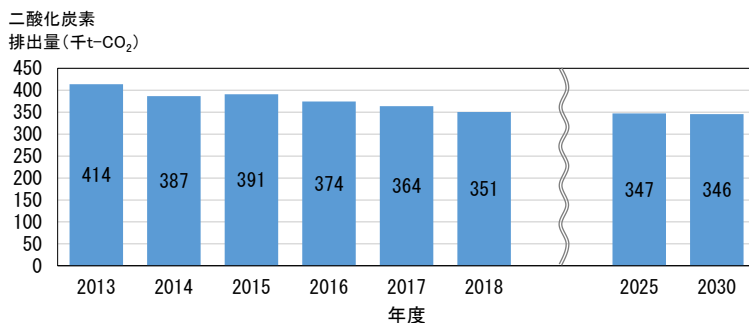
■二酸化炭素排出量の将来推計

・今後追加の対策を行わない場合の将来推計（現状趨勢（BAU）ケース）

単位：千t-CO<sub>2</sub>

排出部門	2013（平成25）年度 （基準年度）	2018（平成30）年度	2025（令和7）年度	2030（令和12）年度
産業部門	75	58	56	56
業務部門	96	74	77	79
家庭部門	102	86	82	80
運輸部門	134	126	125	124
廃棄物部門	7	7	7	7
二酸化炭素排出量	414	351	347	346
基準年度比	100.0%	84.7%	83.8%	83.5%

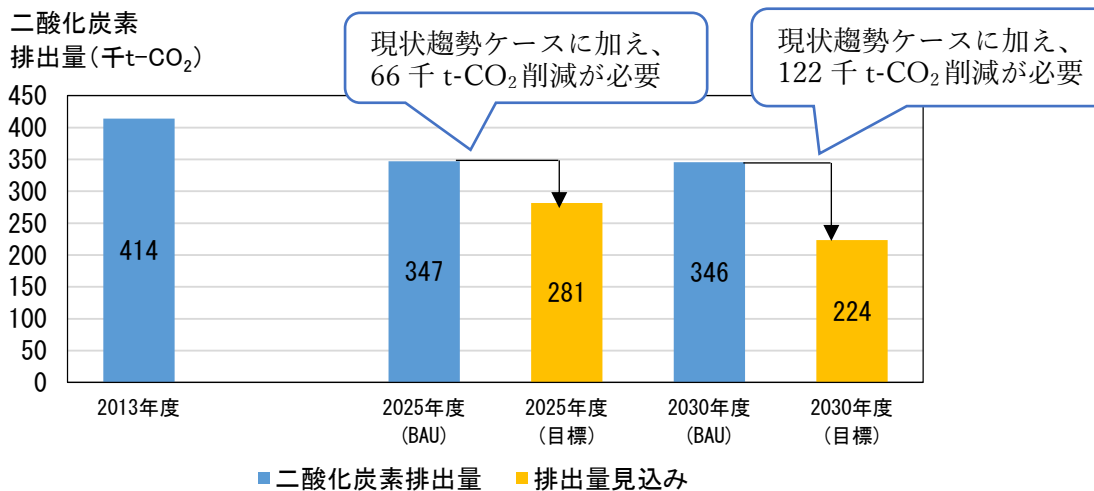
注：各数値については、端数処理の関係から、合計等と一致しない場合があります。



今後追加の温暖化対策を行わなかった場合の二酸化炭素排出量は、2025(令和7)年度に347千t-CO<sub>2</sub>、2030(令和12)年度に346千t-CO<sub>2</sub>の排出が見込まれます。




## ■削減目標

短期目標 2025 (令和 7) 年度	2013 (平成 25) 年度比 <b>32%削減</b> (133 千 t-CO <sub>2</sub> 削減)
	➤ 二酸化炭素排出量を 2013 (平成 25) 年度比で 32%削減
中期目標 2030 (令和 12) 年度	2013 (平成 25) 年度比 <b>46%削減</b> (190 千 t-CO <sub>2</sub> 削減)
	➤ 二酸化炭素排出量を 2013 (平成 25) 年度比で 46%削減
長期目標 2050 (令和 32) 年度	<b>二酸化炭素排出量実質ゼロ (目指す将来像)</b>
	➤ 二酸化炭素排出量を実質ゼロ



## ■二酸化炭素排出量削減に向けた取組み (緩和策)

基本目標	主な施策	市民	事業者	行政
<b>目標①</b> 省エネルギー対策の推進 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくまじい つながるまち 13 気候変動に 具体的な対策を	➤ 省エネルギー機器の導入	○	○	○
	➤ 建物の脱炭素化	○	○	○
	➤ ライフスタイル・ビジネススタイルの見直し	○	○	○
	➤ クールスポット・ウォームスポットの設置・利用等	○	○	○
	➤ 省エネ商品の選択の普及啓発		○	○
	➤ 街灯等の LED 化の推進			○
	➤ 農産物の地産地消	○		○
<b>目標②</b> 再生可能エネルギーの利用促進 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくまじい つながるまち 13 気候変動に 具体的な対策を	➤ 太陽光発電等再生可能エネルギーの導入促進	○	○	○
	➤ 再生可能エネルギーの利用促進	○	○	○

基本目標	主な施策	市民	事業者	行政
<b>目標③</b> 地球温暖化対策に対する意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策に関する情報提供。</li> <li>他自治体・事業者等との情報共有及び連携の推進</li> <li>環境に配慮した行動の実践及び普及啓発</li> <li>環境学習・環境教育への積極的な実施及び参加</li> </ul>			○
<b>目標④</b> 多様な手法を用いた地球温暖化対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> <li>5R 運動の推進</li> <li>プラスチックごみの削減</li> <li>3きり運動の推進</li> <li>身近な緑化の推進</li> <li>環境保全型農業（環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業）の推進</li> <li>フロン対策、地球温暖化係数（GWP）の低い冷媒を用いた製品使用の推進</li> </ul>	○	○	○
<b>目標⑤</b> 低炭素な交通ネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の活用等</li> <li>次世代自動車の導入</li> <li>エコドライブの実践</li> </ul>	○	○	○

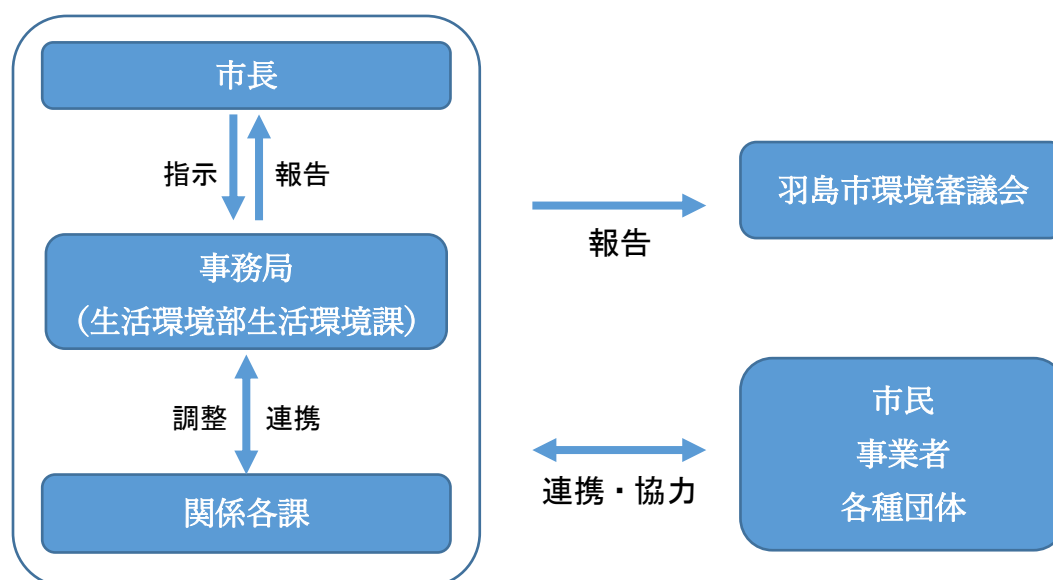
## ■気候変動に対する適応策

分野	適応策
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高温、多雨等に対応した耕作地の管理、高温や病気に強い品種の普及</li> <li>ハウスにおける高温等に対応した管理、台風等の災害に強い対候性ハウスの普及</li> <li>畜舎の暑熱対策の普及</li> <li>病害虫の発生情報、防除情報の発信</li> </ul>
水環境・水資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>速やかに河川や池沼での水質悪化を把握するため、定期的な水質モニタリングの実施</li> <li>国、県、利水者、企業、住民等による各主体との渇水リスク情報を共有し、対応策の検討</li> </ul>
自然生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動による生物への影響についての情報収集</li> <li>生物季節や生息分布域の変化についての情報収集</li> </ul>
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページへの防災情報の掲載による普及・啓発</li> <li>災害ハザードマップを適切に更新し、全戸配布や市ホームページへの掲載・普及啓発等</li> <li>災害廃棄物の迅速な処理に向けた、「羽島市災害廃棄物処理計画」の策定、計画に基づいた対応</li> <li>地域防災訓練の実施</li> <li>災害時における複数の情報伝達手段の確保（防災無線、携帯メール、フリーダイヤルのテレホンサービス、SNS）</li> <li>防災拠点の強化（新庁舎における防災拠点機能の強化、資材、備蓄食料の計画的更新）</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症予防知識の普及・啓発</li> <li>市の施設におけるエアコンの充実、クールスポットの提供</li> <li>感染症を媒介する昆虫類についての情報提供</li> <li>食中毒についての情報提供</li> <li>光化学オキシダントの発生状況の速やかな情報提供</li> </ul>
産業・経済活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動が産業・経済活動に及ぼす影響についての情報収集</li> </ul>
市民生活・都市生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動が季節行事に与える影響についての情報収集</li> <li>クールスポットの創出・活用</li> </ul>

## ■計画の推進

### ・実施・推進体制

本計画の推進にあたっては、羽島市環境基本計画の推進体制に準拠し、事業を推進する市をはじめ、これに連携する市民、事業者及び各種団体等とともに、協働して実施します。

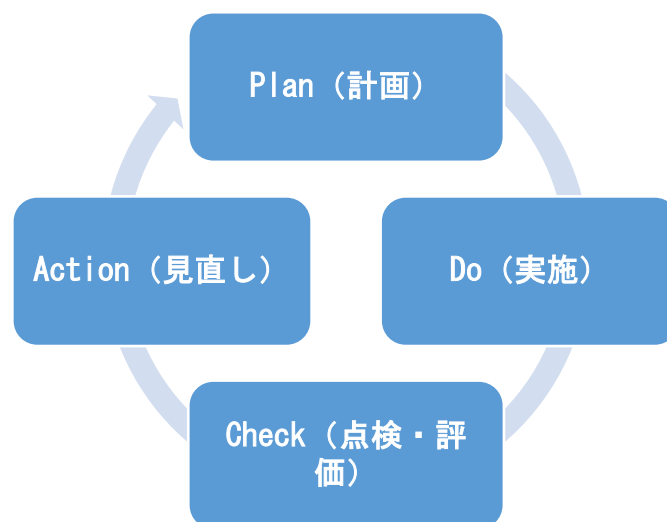


計画の推進体制

### ・進捗管理

本計画の進行管理は、Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検・評価）、Action（見直し）のPDCAサイクルの手法により行います。

PDCAサイクルは、毎年度単位に行い、年度ごとに計画の進捗状況を把握し、計画に基づき施策を実施します。同時に5年単位のPDCAサイクルにより、計画の見直しを行います。



2022（令和4）年3月策定  
羽島市生活環境部生活環境課